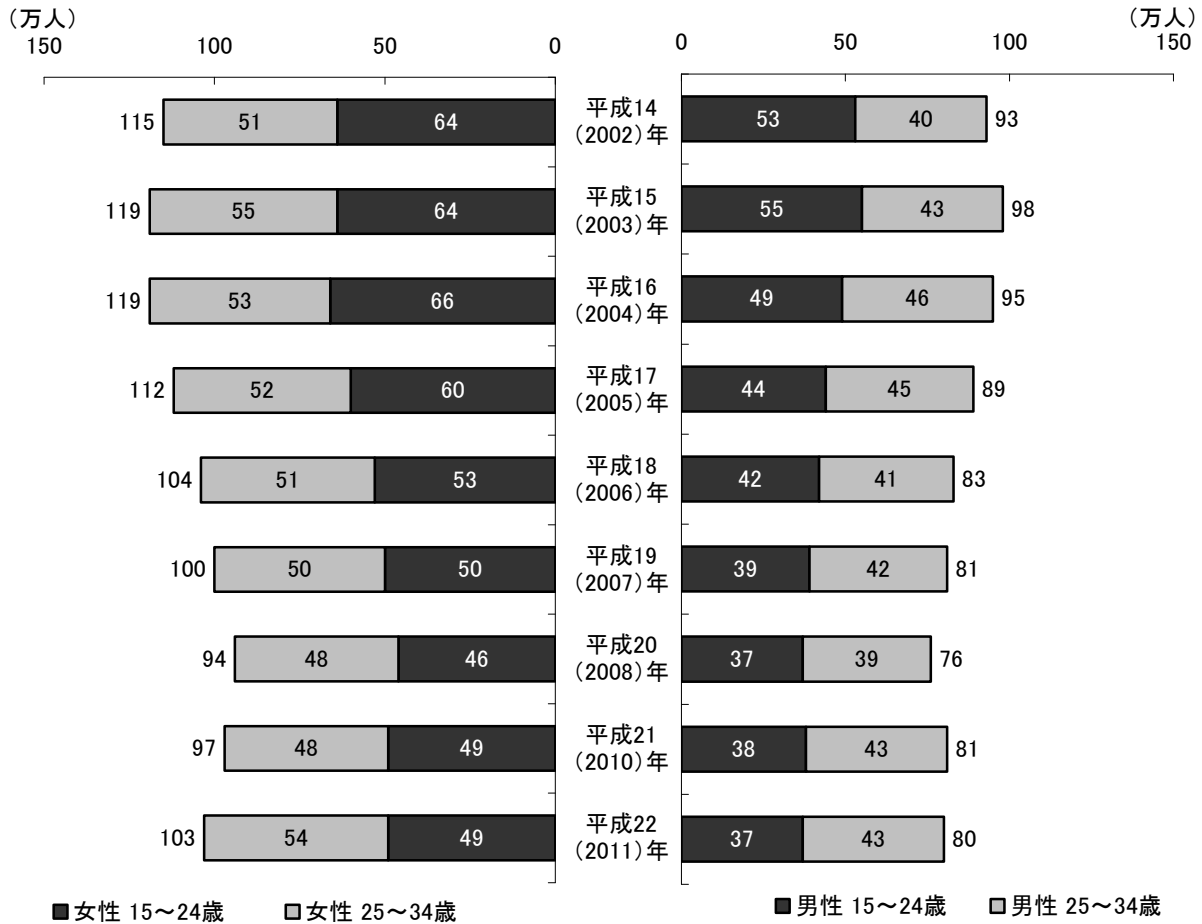


I-8. 生活困難の状況

1. 年齢階級別フリーターの推移

フリーターの推移をみると、平成15(2003)年から平成16(2004)年をピークとして、男女ともに減少傾向にあったが、平成21(2010)年から男女とも若干増加に転じている。各年とも女性の人数が男性の人数を上回っており、平成22(2011)年には、女性で103万人、男性で80万人になっている。

図表 I-8-1 年齢階級別フリーターの推移(全国)
 <女性> <男性>



注：ここでいう「フリーター」は、若年層のパート・アルバイト及びその希望者(15~34歳の男性(卒業者)、女性(卒業で未婚の者)のうち、①「パート・アルバイト」での雇用者②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者の合計

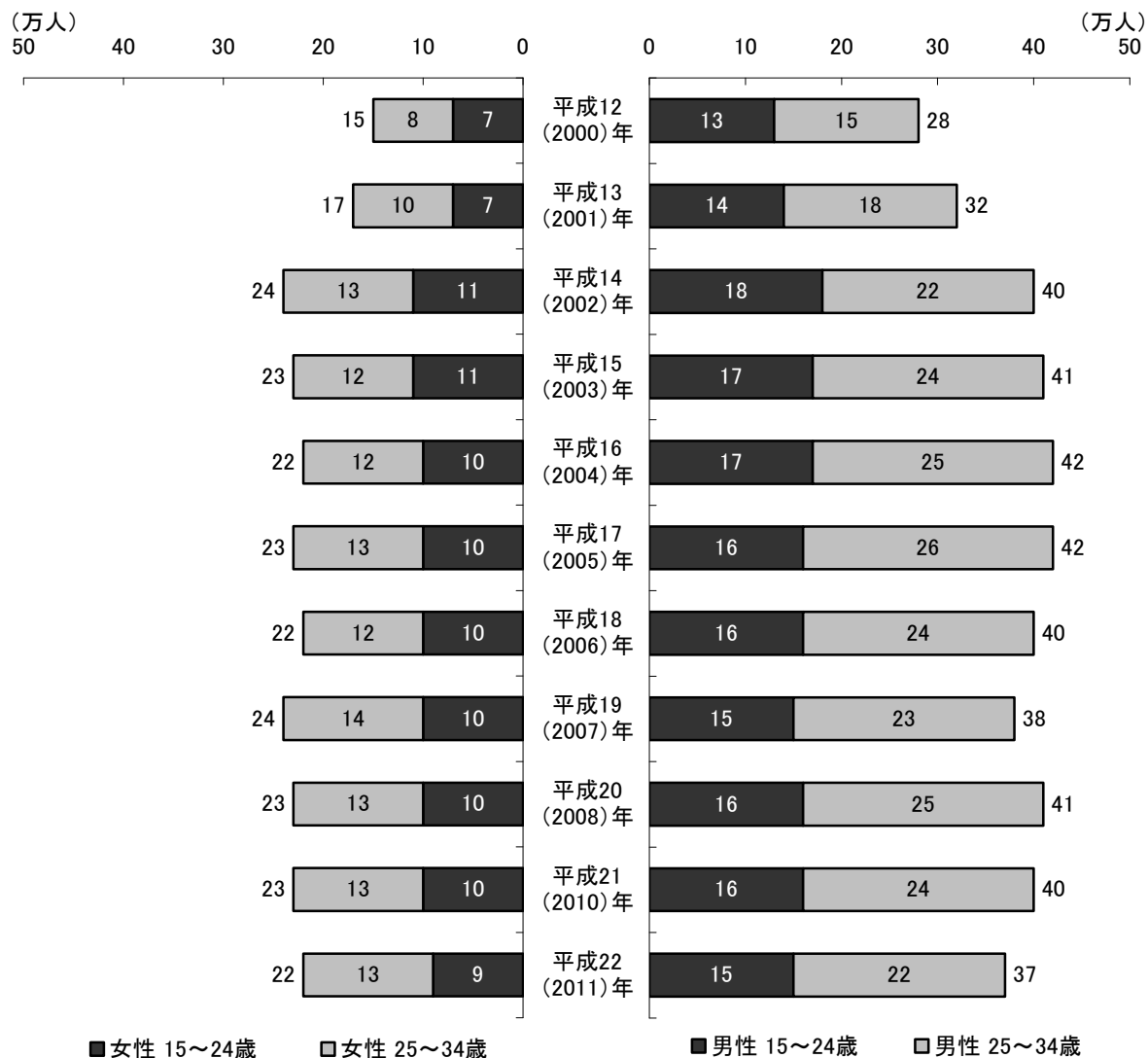
資料：総務省「労働力調査」

I あらゆる分野への参画の促進

2. 若年無業者数の推移

若年無業者数の推移をみると、女性は平成14（2002）年に20万人に達し、その後は20万人台前半で推移している。男性は平成14（2002）年以降30万人台後半から40万人台前半で推移している。

図表 I - 8 - 2 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）
 <女性> <男性>



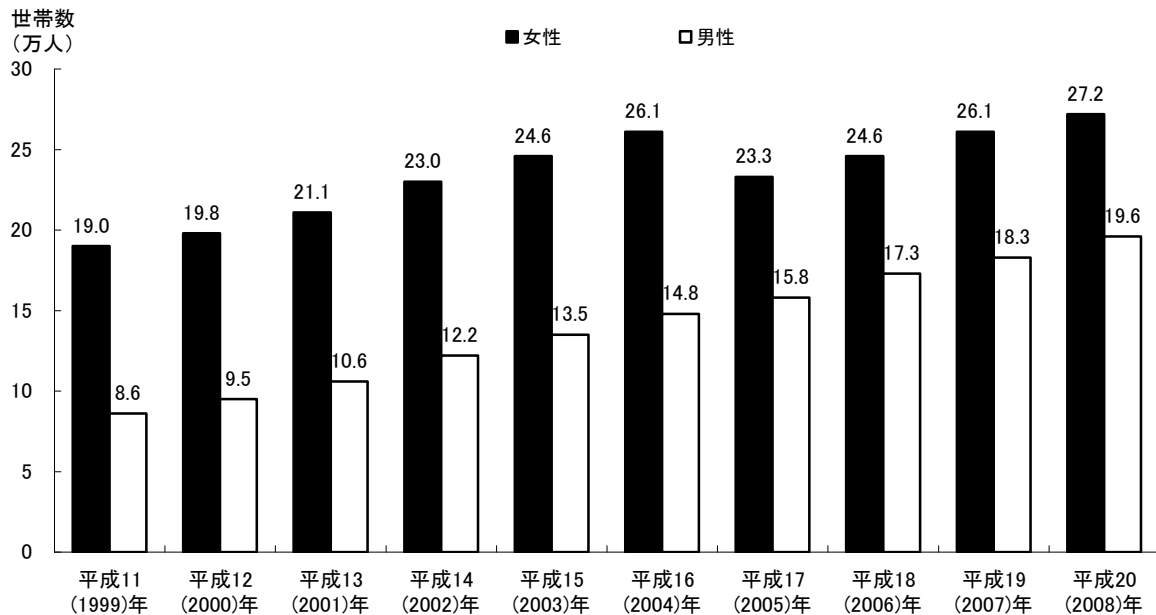
注：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

資料：総務省「労働力調査」

3. 生活保護を受ける高齢者単身世帯数の推移

生活保護を受ける高齢者単身世帯数についてみると、女性は平成 16（2004）年から平成 17（2005）年にかけて一度減少したもののその後は増加しており、男性は毎年増加している。平成 20（2008）年の生活保護を受ける高齢者単身世帯数は、男性が 19.6 万世帯、女性が 27.2 万世帯となっている。

図表 I - 8 - 3 生活保護を受ける高齢者単身世帯数の推移（全国）



注 1：高齢者単身世帯とは、男女とも 65 歳以上（平成 17 年 3 月以前は、男性 65 歳以上、女性 60 歳以上）の者のみで構成されている世帯をいう。

注 2：各年 7 月 1 日時点

資料：厚生労働省「被保護者全国一斉調査」